

お取引先 代表者各位

神戸市立医療センター中央市民病院に業務で出入りされる業者の皆さまへ
流行性ウイルス性疾患およびインフルエンザの予防接種のお願い

神戸市立医療センター中央市民病院 病院長

当院では、職員全員の感染予防（うつさない）と健康の確保（もらわない）の一環として、患者と接触する可能性のある職員全員（協力法人含む）と、実習・研修生などに対して、流行性ウイルス疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）のワクチン接種（冬季にはインフルエンザワクチン）や抗体検査の徹底を行っています。しかし、国内ではワクチンを接種したことがない（未接種）・接種したがどうか分からない（不明）、接種したけど十分に免疫がついていないなどの人が一定数いるため、数年おきに流行が繰り返されています。

2018年8月には、関東を中心に麻疹、風疹が大流行しました。特に、風疹は妊娠初期に感染すると、流産、死産、先天性風疹症候群（白内障、難聴、知能発達の遅れ、先天性心疾患）、発達遅延が生じることがあります。国立感染症研究所感染症疫学センターの発表によると、現在の風疹流行の中心は成人であり、その中でも特に30代～50代前半の男性に多く、予防接種歴は「なし」と「不明」が約90%を占めていました。当院には、様々な部門業者の方々とのつながりがあり、一部は病棟内や外来に頻繁に出入りされています。

こういった背景から、当院における職業感染予防は、当院職員や実習生のみならず、当院に出入りされる業者の方々においても職員と同様の対策が求められます。

つきましては、委託などにより病院内で業務をされている方、および業務上当院を訪問される皆様方におかれましては、これらのウイルス性疾患とインフルエンザ（12月～3月に訪問する場合）のワクチン接種にご協力をお願い申し上げます。なお、各企業におかれましては社会的見地よりご協力をお願い致します。

なお、抗体検査やワクチン接種をする場合は、近隣の医療機関を受診してください。

以下を推奨いたします。

○麻疹、風疹、水痘、おたふくかぜ

①1歳以上で2回の予防接種記録がある（抗体検査は必須ではない）

②予防接種の記録がなく、抗体価を測定し

→抗体価陰性の場合、2回接種

→抗体価陽性（基準値を満たさない）の場合、1回接種

③医療機関による罹患歴の証明がある方は接種不要（ただし、自己申告や家族の記憶は不可）

※1歳以上で1回接種歴があり、それ以降に測定した抗体価が陽性の場合であっても、2回目が必要

※日本環境感染学会 医療関係者のためのワクチンガイドラインに準ずる

○インフルエンザ（アレルギーなどで接種できない場合を除く）

12月～3月に当院を訪問される場合

以上

担当 経理調達係

感染管理室

内線 2621